

平成28年度第3回岡山県医療対策協議会 議事要旨

1 日 時 平成29年1月30日（月）16:30～17:25

2 場 所 メルパルク岡山 3階 錦

3 出席者 別紙のとおり

4 議 題

- (1) 岡山大学医学部地域枠卒業1期生の勤務病院の決定等について
- (2) 6学会の専門医研修における平成29年度暫定プログラムについて

5 議事要旨

- (1) 岡山大学医学部地域枠卒業1期生の勤務病院の決定等について

岡山大学医学部地域枠卒業1期生4人の平成29年4月の勤務病院（地域勤務病院・後期研修病院）の決定と、平成30年4月から新たに着任する医師の地域勤務病院の決定方法について事務局から説明があり、平成30年度から新たに着任する医師の地域勤務病院は、概ね今回と同様の方法（県北への配置、総合評価による勤務候補病院の選定、地域枠卒業医師と勤務候補病院とのマッチングによる勤務病院の決定）により決定することが承認された。

委員からは次のような意見があった。

- ・ 地域枠卒業医師の地域勤務先が総合評価の高い病院に集中し、医師がいなくて本当に困窮している病院に地域枠卒業医師が配置されないのではないかと危惧している。そのようなことが起こらないよう、例えば、一つの病院の配置人数を2人までとしたり、既に1人配置されている病院は評価点数を減調整したりするなどの調整をしてもらいたい。
- ・ 地域勤務病院の決定に関しては、ある程度明文化されたプログラムを作成して対応した方がよい。

- (2) 6学会の専門医研修における平成29年度暫定プログラムについて

6学会（小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、病理、救急科、形成外科）の平成29年度暫定プログラムの内容（専門研修基幹施設、専門研修連携施設、募集定員）について事務局から説明があり、暫定プログラムの内容に関する日本専門医機構からの意見等提出依頼に対する対応は、本協議会での意見を踏まえて県において判断することとされた。

委員からは次のような意見があった。

- ・ コメントであるが、診療科によっては専攻医の募集人員が少なかったり、募集人員がゼロであったりする県もある。これは大変な問題であり、学会には、専門医のいないような県がないようにしてもらいたい。

- 専門医の研修施設がない二次保健医療圏がないようにするのが日本専門医機構の狙いであると思うが、そもそも専門医の人数の少ない診療科では、全ての二次保健医療圏内に研修施設を配置するというのは無理な話である。

平成28年度第3回岡山県医療対策協議会 出席者名簿

【委員】

所 属	役職等	氏 名	備 考
岡山県医師会	会長	石川 紘	会長
岡山県病院協会	会長	難波 義夫	副会長
岡山県看護協会	会長	宮田 明美	
岡山大学病院	院長	楨野 博史	
川崎医科大学附属病院	院長	園尾 博司	
国立病院機構岡山医療センター	院長	佐藤 利雄	
総合病院岡山赤十字病院	院長	忠田 正樹	
岡山済生会総合病院	院長	山本 和秀	
倉敷中央病院	院長	山形 専	
津山中央病院	院長	藤木 茂篤	
岡山県市長会	井原市長	瀧本 豊文	(代理)岡山県市長会 事務局次長 角田 篤司
岡山県町村会	鏡野町長	山崎 親男	御欠席
岡山県自治体病院協議会	会長	松本 健五	
岡山県愛育委員連合会	会長	藤本 貴子	御欠席
岡山県保健福祉部	部長	荒木 裕人	(代理)保健福祉部 次長 小倉 誠二
岡山県保健所長会	会長	二宮 忠矢	御欠席
委員数:16人 (出席者:13人)			(順不同、敬称略)

【事務局】

所 属	役職等	氏 名	備 考
岡山県保健福祉部医療推進課	課長	則安 俊昭	
	副課長	清水 浩史	
	総括参事	塩飽 聡	
	副参事	平田 英俊	
	主任	難波 真人	
岡山県地域医療支援センター	センター長	糸島 達也	
	専任担当医師	岩瀬 敏秀	
	事務員	下山 みどり	
	事務員	秋田 政子	